



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2018年11月13日

上場会社名 株式会社 日伝
 コード番号 9902 URL <http://www.nichiden.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

(氏名) 福家 利一
 (氏名) 檜垣 泰雄

TEL 06-7637-7000

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	62,166	7.1	3,254	9.5	3,393	9.7	2,366	11.9
2018年3月期第2四半期	58,046	16.6	2,971	48.6	3,092	44.5	2,114	31.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 2,020百万円 (△35.8%) 2018年3月期第2四半期 3,146百万円 (81.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	75.35	—
2018年3月期第2四半期	67.33	—

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	102,621	73,460	71.6
2018年3月期	102,216	72,698	71.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 73,460百万円 2018年3月期 72,698百万円

(注) 『「税効果会計に係る会計基準」の一部改正』(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,000	5.3	6,270	3.6	6,470	3.4	4,360	0.1	138.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期2Q	31,886,000 株	2018年3月期	31,886,000 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2019年3月期2Q	482,514 株	2018年3月期	482,514 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期2Q	31,403,486 株	2018年3月期2Q	31,403,622 株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、7月の西日本豪雨、9月の大型台風および北海道胆振東部地震といった自然災害の影響が下押しに作用したものの、好調な企業業績を背景に回復基調が持続しております。

当社グループを取り巻く機械器具関連業界におきましては、工作機械やEVを含む自動車関連が高水準を維持しており、人手不足の深刻化、生産設備の老朽化等を背景とした省力化・更新需要は旺盛で、設備投資は増加基調を維持しております。

このような状況の下、第2次中期経営計画『NEXT FIELD 2020』を策定し、当社グループの「新たな商社機能」の強化と提供価値および貢献力の向上に取り組んでおります。

具体的には、営業業務の効率化およびお取引先の満足度の向上に資することを目的とした、新しい基幹システム「K I Z N A」を2018年8月に稼働させました。また、各種展示会への積極的な出展を継続するとともに、戦略的在庫の拡充に取り組み、お取引先様への情報提供、利便性の向上に努めてまいりました。

2018年9月には、事業領域の拡大を目的として、油圧システムの設計・製造会社であるエヌピーエーシステム株式会社(埼玉県蕨市)の全株式を取得し完全子会社といたしました。なお、資産、売上高、損益、利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、現時点では重要性がないため、非連結子会社としております。海外におきましては、2018年8月に当社子会社「NICHIDEN (Thailand) Co.,Ltd.」が、チョンブリ県シーラチャ郡に拠点拡充を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高621億6千6百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益32億5千4百万円(前年同期比9.5%増)、経常利益33億9千3百万円(前年同期比9.7%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、23億6千6百万円(前年同期比11.9%増)と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較を行っております。

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億5百万円増加し、1,026億2千1百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ7億8千4百万円増加し、746億2千5百万円となりました。これは、現金及び預金が18億9千8百万円、受取手形及び売掛金が17億1千5百万円減少したものの、電子記録債権が11億6千5百万円、有価証券が20億円、商品及び製品が13億5千7百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3億7千9百万円減少し、279億9千6百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ3億5千7百万円減少し、291億6千万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億4千9百万円減少し、251億4千4百万円となりました。これは、電子記録債務が26億6百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が19億4千9百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億7百万円減少し、40億1千5百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が11億7百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べ7億6千2百万円増加し、734億6千万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ19億1千4百万円減少し、228億3千7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、22億万円（前年同期において得られた資金17億4千9百万円）となりました。これは主に、法人税等の支払額が11億8千3百万円、たな卸資産の増加額が14億1千万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が33億9千3百万円、仕入債務の増加額が8億2千2百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、27億2千8百万円（前年同期において得られた資金76億9千8百万円）となりました。これは主に、有価証券の取得による支出が20億円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、13億8千4百万円（前年同期において使用した資金11億6千1百万円）となりました。これは、配当金の支払額が12億5千5百万円あったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点では、2018年5月8日の決算発表時に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,179	23,281
受取手形及び売掛金	29,731	28,015
電子記録債権	8,541	9,707
有価証券	2,000	4,000
商品及び製品	7,892	9,250
その他	504	379
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	73,840	74,625
固定資産		
有形固定資産	12,751	12,443
無形固定資産	2,688	2,558
投資その他の資産		
投資有価証券	12,269	11,945
その他	692	1,074
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	12,935	12,994
固定資産合計	28,375	27,996
資産合計	102,216	102,621
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,977	10,028
電子記録債務	9,872	12,478
未払法人税等	1,256	1,074
賞与引当金	635	644
その他	1,552	918
流動負債合計	25,294	25,144
固定負債		
退職給付に係る負債	95	100
その他	4,127	3,915
固定負債合計	4,223	4,015
負債合計	29,517	29,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,368	5,368
資本剰余金	7,283	7,283
利益剰余金	55,769	56,877
自己株式	△672	△672
株主資本合計	67,748	68,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,888	4,569
為替換算調整勘定	60	34
その他の包括利益累計額合計	4,949	4,604
純資産合計	72,698	73,460
負債純資産合計	102,216	102,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	58,046	62,166
売上原価	49,630	53,178
売上総利益	8,416	8,987
販売費及び一般管理費	5,444	5,733
営業利益	2,971	3,254
営業外収益		
受取配当金	81	99
仕入割引	202	205
その他	37	59
営業外収益合計	321	364
営業外費用		
支払利息	29	30
売上割引	156	180
その他	14	14
営業外費用合計	200	225
経常利益	3,092	3,393
税金等調整前四半期純利益	3,092	3,393
法人税、住民税及び事業税	1,017	1,011
法人税等調整額	△39	15
法人税等合計	978	1,027
四半期純利益	2,114	2,366
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,114	2,366

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	2,114	2,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,041	△319
為替換算調整勘定	△9	△26
その他の包括利益合計	1,031	△345
四半期包括利益	3,146	2,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,146	2,020

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,092	3,393
減価償却費	289	442
売上債権の増減額(△は増加)	△5,000	397
たな卸資産の増減額(△は増加)	△992	△1,410
仕入債務の増減額(△は減少)	5,263	822
その他	△28	△337
小計	2,624	3,307
利息及び配当金の受取額	92	107
利息の支払額	△29	△30
法人税等の支払額	△937	△1,183
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,749	2,200
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11	△22
定期預金の払戻による収入	8,013	6
有価証券の取得による支出	-	△2,000
有形固定資産の取得による支出	△99	△107
投資有価証券の取得による支出	△34	△139
子会社株式の取得による支出	△80	△374
その他	△89	△91
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,698	△2,728
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△1,098	△1,255
その他	△62	△128
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,161	△1,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,284	△1,914
現金及び現金同等物の期首残高	18,512	24,752
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,797	22,837

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。